



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 株式会社 J-MAX 上場取引所 東・名
コード番号 3422 URL <https://www.jp-jmax.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山崎 英次
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 棚橋 哲郎 (TEL) 0584-48-2832
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,831	△2.5	△58	—	△296	—	△367	—
2025年3月期第1四半期	11,106	△14.4	△181	—	△213	—	△965	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △1,331百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △275百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△32.02	—
2025年3月期第1四半期	△84.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	56,409	18,255	29.6
2025年3月期	55,724	19,609	32.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 16,697百万円 2025年3月期 17,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	3.2	300	—	0	—	△150	—	△13.08
通期	49,000	4.0	1,500	—	800	—	350	—	30.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 福建丸順新能源汽車科、除外 -社(社名) -
技有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	11,857,200株	2025年3月期	11,857,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	389,389株	2025年3月期	389,389株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	11,467,811株	2025年3月期1Q	11,451,825株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の関税率引き上げ等の影響により、先行きに不透明感が漂うものの、回復基調を維持いたしました。

米国では、景気の拡大が緩やかとなるものの、個人消費は底堅く推移し、雇用環境も堅調さを維持いたしました。中国では、各種政策の効果がみられるものの、景気は足踏み状態となっており、個人消費も概ね横ばいとなっております。日本では雇用及び所得環境改善の動きが続く中、個人消費の持ち直しが見られるものの、食料品を中心とした物価高により節約志向が高まり、景気回復の勢いは鈍化しております。

当社グループが属する自動車業界においては、日本では半導体不足の影響が一巡し、生産体制が正常化しつつあることを背景に、新車出荷台数は前年同四半期を上回る水準となりました。特に、軽自動車やハイブリッド車（HEV）を中心に堅調な需要が継続し、国内販売台数は回復傾向を維持しております。タイでは家計債務上昇に伴う自動車ローンの審査厳格化等の影響が続いており、販売台数は前年同四半期比で減少となりました。中国では政府による新エネルギー車（NEV）支援政策の継続と価格競争の激化により、中国系の自動車メーカーが市場占有率を伸ばす中、日系メーカー各社は未だ大きく遅れをとっており、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中長期5か年計画の3年目として、既存事業の強化及び電動化領域を中心とする新事業の創出に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,831百万円（前年同四半期比2.5%減）、営業損失は58百万円（前年同四半期は181百万円の営業損失）、経常損失は296百万円（前年同四半期は213百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は367百万円（前年同四半期は965百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の「J-MAX」、「タイ」、「広州」、「武漢」の区分から、「日本」、「タイ」、「中国」に変更しております。これに伴い前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成したものを開示しております。

(日本)

日本においては、要員適正化など継続的な原価低減活動を推進したものの、主要客先の減産及び生産車種構成変化に加え、金型設備等の販売が減少したことにより、売上高及び利益ともに減少いたしました。

以上の結果、売上高は3,983百万円（前年同四半期比15.7%減）、経常利益は261百万円（前年同四半期比46.1%減）となりました。

(タイ)

タイにおいては、主要客先の減産影響等により、売上高は現地通貨ベースでは減少となるものの、円安による為替変動により、邦貨ベースでは同水準となりました。また、前期に実施した構造改革に伴う要員適正化や原価低減活動の効果により、労務費、経費及び減価償却費等が減少したため、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は1,654百万円（前年同四半期比0.7%増）、経常利益は18百万円（前年同四半期は18百万円の経常損失）となりました。

(中国)

中国においては、主要客先である日系メーカーの減産は依然として継続しているものの、受注を強化している車載電池メーカー向けの電動化部品の増加等により、売上高は増加いたしました。また、前期に実施した構造改革に伴う要員適正化及び固定資産の売却による固定費削減や販管費の削減効果等により経常損失は減少いたしました。

以上の結果、売上高は5,283百万円（前年同四半期比8.8%増）、経常損失は240百万円（前年同四半期は405百万円の経常損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、56,409百万円となり、前連結会計年度末と比較し、684百万円の増加となりました。これは主に、建物及び構築物が2,672百万円増加、機械装置及び運搬具が504百万円増加、リース資産が1,021百万円増加、建設仮勘定が3,579百万円減少したこと等が要因であります。

負債総額は38,153百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,038百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が598百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が545百万円減少、長期借入金が1,819百万円増加、リース債務が1,156百万円増加したこと等が要因であります。

純資産は18,255百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,354百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が390百万円減少、為替換算調整勘定が859百万円減少したこと等が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,565	6,775
受取手形及び売掛金	12,154	12,079
商品及び製品	520	523
仕掛品	2,900	2,778
原材料及び貯蔵品	1,338	1,546
その他	2,023	1,880
貸倒引当金	△121	△115
流動資産合計	25,380	25,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,780	8,453
機械装置及び運搬具（純額）	8,137	8,642
工具、器具及び備品（純額）	5,247	4,941
土地	1,683	1,661
リース資産（純額）	1,225	2,247
建設仮勘定	6,804	3,224
有形固定資産合計	28,879	29,170
無形固定資産	325	294
投資その他の資産		
その他	1,149	1,486
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	1,138	1,475
固定資産合計	30,343	30,940
資産合計	55,724	56,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,250	6,671
短期借入金	12,601	12,002
1年内返済予定の長期借入金	1,992	1,446
リース債務	401	320
未払法人税等	22	465
賞与引当金	159	205
その他	3,468	2,796
流動負債合計	24,895	23,908
固定負債		
社債	2,500	2,500
長期借入金	6,753	8,573
リース債務	830	2,067
退職給付に係る負債	826	795
役員株式給付引当金	29	30
資産除去債務	251	252
その他	28	27
固定負債合計	11,220	14,245
負債合計	36,115	38,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950	1,950
資本剰余金	2,225	2,225
利益剰余金	7,700	7,309
自己株式	△282	△282
株主資本合計	11,593	11,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	65
為替換算調整勘定	6,078	5,219
退職給付に係る調整累計額	209	209
その他の包括利益累計額合計	6,349	5,494
非支配株主持分	1,665	1,557
純資産合計	19,609	18,255
負債純資産合計	55,724	56,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	11,106	10,831
売上原価	10,502	10,088
売上総利益	604	743
販売費及び一般管理費	786	801
営業損失(△)	△181	△58
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	5	5
為替差益	70	-
その他	10	16
営業外収益合計	96	29
営業外費用		
支払利息	106	146
為替差損	-	15
固定資産除却損	1	16
支払手数料	-	57
その他	19	30
営業外費用合計	127	267
経常損失(△)	△213	△296
特別利益		
固定資産売却益	14	2
特別利益合計	14	2
特別損失		
事業構造改革費用	-	24
減損損失	508	-
災害による損失	7	-
特別退職金	233	1
特別損失合計	748	25
税金等調整前四半期純損失(△)	△947	△319
法人税等	132	69
四半期純損失(△)	△1,079	△388
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△114	△21
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△965	△367

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,079	△388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	3
為替換算調整勘定	813	△946
その他の包括利益合計	803	△942
四半期包括利益	△275	△1,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△243	△1,222
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	△108

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託)

当社は、2025年6月20日開催の第67回定時株主総会決議に基づき、当社取締役（監査等委員である取締役、非業務執行取締役及び社外取締役を除く。）及び当社と委任契約を締結している執行役員（以下総称して「取締役等」という。）を対象とする株式報酬制度（以下「本制度」という。）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下「本信託」という。）が当社株式を取得し、当社が各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役等に対して交付される、という株式報酬制度です。

なお、取締役等が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時です。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度61百万円、99,100株、当第1四半期連結会計期間61百万円、99,100株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	タイ	中国	
売上高				
プレス成型部品等	4,484	1,633	4,835	10,953
金型等	131	—	16	148
その他	5	—	—	5
顧客との契約から生じる収益	4,620	1,633	4,851	11,106
外部顧客への売上高	4,620	1,633	4,851	11,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	106	8	2	117
計	4,727	1,642	4,854	11,224
セグメント利益又は損失(△)	484	△18	△405	60

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	60
セグメント間取引消去	62
子会社配当金	△381
その他の調整額	45
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△213

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「中国」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において508百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	日本	タイ	中国	
売上高				
プレス成型部品等	3,842	1,646	4,901	10,390
金型等	61	—	378	439
その他	1	—	—	1
顧客との契約から生じる収益	3,905	1,646	5,280	10,831
外部顧客への売上高	3,905	1,646	5,280	10,831
セグメント間の内部売上高 又は振替高	78	8	3	90
計	3,983	1,654	5,283	10,921
セグメント利益又は損失(△)	261	18	△240	38

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	38
セグメント間取引消去	6
子会社配当金	△346
その他の調整額	4
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△296

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の「J-MAX」、「タイ」、「広州」、「武漢」の区分から、「日本」、「タイ」、「中国」に変更しております。これに伴い前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,167 百万円	883 百万円